

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union

2024年3月3日 No.73

JR東労組結成37年を迎えて

JR東労組は1987年3月3日に誕生し、結成37年を迎えました。私たちは国鉄改革の理念である「雇用の確保」「鉄道の復権」「新たな労使関係の構築」を実現するため、組合員とともに団結を強化し、たたかってきました。



しかし、その道程は組織破壊とのたたかひの連続であり、多くは一部指導部の驕りと自己保

身で組合員を引き回した結果です。特に「18春闘」は、組合員の思い・気持ちを受け止めなかったことで、組合員の大量脱退や分裂組織結成を招きました。私たちは「大敗北」として総括・反省し、「新生JR東労組運動宣言」を発出し、組合員や未加入の仲間からの信頼回復に努めることを誓いました。

いま、JR東日本グループの各職場では離職者が相次ぎ、休日出勤や長時間労働は当たり前、そして作業中の死亡事故や危険な事象が連続発生するなど、「安全・健康・ゆとり」とは程遠い状況にあります。この現実に対しJR東労組は、職場の組合員の声をもとに団体交渉等で指摘し、労働協約を活用しながら改善を図ってきました。そして、職場の努力に報いない経営姿勢に対し忖度なく指摘できるのは労働組合だからこそできることです。

今こそ労働組合、JR東労組の存在が必要不可欠です。懲罰的日勤教育やハラメントを許さず、組合員が安心できる労働条件と職場環境をめざして、これからは是非々で問題点を指摘し、真正面から会社と向き合っていきます。そのために組織を強化・拡大し、「抵抗とヒューマニズム」を基底に仲間に寄り添い、支え合い、共にたたかうことができる組織をめざしましょう！

「抵抗とヒューマニズム」を基底に、「新生JR東労組運動宣言」のもと、職場からのたたかひで未来を切り拓こう！